



平成 27 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号：1606 東証第一部)
問合せ先 広報・IR 室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

「HAKURYU-12」による CGX 社掘削工事契約の早期終了について（開示事項の変更）

当社は、平成 26 年 6 月に Teikoku Oil (Suriname) Co., Ltd.（以下 TOS 社）および CGX Resources Inc.（以下 CGX 社）から受注した当社運用リグ「HAKURYU-12」を使用して実施する掘削工事について（注）、今般南米スリナム沖での TOS 社の掘削工事を完了いたしました。その後引き続き実施される予定であった CGX 社の掘削工事に係る契約が、同社の都合により早期終了することとなりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、本件契約早期終了に伴い CGX 社との間で別途締結される Settlement Agreement（契約の早期終了およびその補償金の支払等に係る契約）に従って、本件契約工事による売上高に相当する補償金を受領する予定です。

1. 契約早期終了の経緯・理由

南米スリナム沖での TOS 社の掘削工事に引き続いて実施される予定であった南米ガイアナ沖での CGX 社の掘削工事の計画が、同社によって見直された結果、同工事の実施が来年 7 月頃まで延期されたため。

2. 業績に与える影響

本件が当社の当期の連結業績に与える影響につきましては、判明次第必要に応じて開示いたします。

（注）掘削工事契約の概要につきましては、平成 26 年 6 月 24 日に開示いたしました「『HAKURYU-12』（仮称）の新規掘削工事受注について（開示事項の経過報告）」をご覧ください。

【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは異なる結果となる可能性がありますので、ご注意ください。

以上